

留学生の声

University Life: The Greatest Academic Journey Ever!

Windra Prayoga (インドネシア)

岩手大学連合農学研究科3年 (渡部徹研究室)



Many students might don't realize it, but university life is the most wonderful journey. Usually, students get so busy during their studies at university so that most of us miss many beautiful moments. But then, after graduating, we miss the moments during our studies. Most people want to throw back those beautiful moments. Some even wish they can rewind the time. University life is the most important time; hence, we were struggling most of the time.

The social side of things and developing as a person are equally important as getting an academic degree in the university's life. It is important to socialise and meet new friends. It is also important to manage our life. There, we learned how to manage life, includes cooking, doing laundry, financial management, etc. We become independent and have to stand on our own two feet. Many lessons were learned during that time and they are great.

I feel very grateful and happy during my university life. It changed me to be a better person. I am now in my last year as a doctoral student. I will be definitely missing life in the Faculty of Agriculture Yamagata University and Tsuruoka city after graduating. There are uncountable moments I had here, with many people around me. I feel so lucky to be surrounded by many good people. They helped me a lot during my hard time, especially in this pandemic of COVID-19. Lastly, I would like to thank everyone who has been helping me this far.

鶴窓会だより27号で紹介した地域定住農業者育成事業で
令和4年度「食と農のビジネス塾」の塾生募集を令和4年2月1日から行います。

【受講料】庄内地域在住の方3万円、それ以外の方4万円(分割納付も可)

食と農のビジネスに関して基礎、経営、加工、販売、農業技術、ビジネス計画書作成の6つの科目群があり、
座学に加え視察、実習、発表会60時間を含む162時間のコースで体系的に学んで頂きます。
ほとんどの講座はZoomを利用したオンライン受講も可能です。4月7日開講で毎週木曜日午後を中心に実施します。
平成28年度から、これまでに延べ144名が学び、庄内外で活躍しています。

興味のある方は地域定住農業者育成コンソーシアム事務局
(070-6255-7392, youngf.sp2016@gmail.com)にお問い合わせください。

私が山形から鶴岡に引っ越してきてから大きく変化したこと
は人間関係だ。コロナによる一番大きな影響は、人と直に会って話す機会が大きく失われたことだ
と考えている。しかし、今までの少なくなった状況下で、思わぬ形で地元の人々との関係を築き、繋がりをつくることができたことは幸せなことだと思う。アルバイトは「アルバイトは」というと、笑っててしまうくらい辛かった。それでも必

かと思っている。鶴岡の人々に受け入れて頂いたような感覚が非常に嬉しかった。
もう一つ人間関係が変わったと感じた瞬間は研究室で、配属された時だ。配属された研究室は、先生と生徒の距離がとても近く、先輩と後輩の距離も近いと
いう仲良しすぎる研究室で、配属された当初の緊張感がなん
だつたのか分からなくなってしまった。そして、一緒に配属された同期が元気すぎると
いうこともあり、初日で研究室の雰囲気に馴れ、騒々しくも非常に楽しい研究室での日々をスタートさせることができた。研究室に入つてからは、身近に先生や先輩方、同期が毎日のようにそばにいることに不思議と懐かしさを感じた。そう感じた理由は、「庄内みどり農業協同組合」という関係や「先生と生徒」



「変わりゆく人間関係」

（食料生命環境学科
アグリサイエンスコース3年）

藤村 啓史

死に食らいつき最後まで頑張ることがで
きた。仕事を通して多くの地元の人とコ
ミュニケーションをと
り、今でも連絡をと
りあうような関
係を築くことがで
きた。辛かつたがこの
た。辛かつたがこの
ような人間関係の
広がりは大学につ
いてただではでき
なかつたのではないか
かと思っている。鶴岡の人々に受け
入れて頂いたような感覚が非
常に嬉しかった。

かと思っている。鶴岡の人々に受け
入れて頂いたような感覚が非
常に嬉しかった。
もう一つ人間関係が変わったと
感じた瞬間は研究室で、配属さ
れた時だ。配属された研究室は、
先生と生徒の距離がとても近
く、先輩と後輩の距離も近いと
いう仲良しすぎる研究室で、配
属された当初の緊張感がなん
だつたのか分からなくなってしま
た。そして、一緒に配
属された同期が元気すぎると
いうこともあり、初日で研究室の
雰囲気に馴れ、騒々しくも非常
に楽しい研究室での日々をスター
トさせることができた。研究室
に入つてからは、身近に先生や先
輩方、同期が毎日のようにそば
にいることに不思議と懐かしさ
を感じた。そう感じた理由は、「庄
内みどり農業協同組合」という
関係や「先生と生徒」

らだと思う。研究室での生活は
実験であったり、農場での作業
だつたりと忙しく、覚えることも
たくさんある。時には厳しさが
垣間見えることもあるが、私は
この研究室を選んでよかったと
感じている。
今後も験がしくも厳しく、厳
しくも楽しいこの研究室と、地
元の人々に支えてもらいながら
残りの大学生活を駆け抜け
ていきたい。



JA庄内みどりは、自然の恵みと人ととのつながりを大切に
農と暮らしの新たな創造によりみどり豊かな地域社会を目指します。

庄内みどり農業協同組合

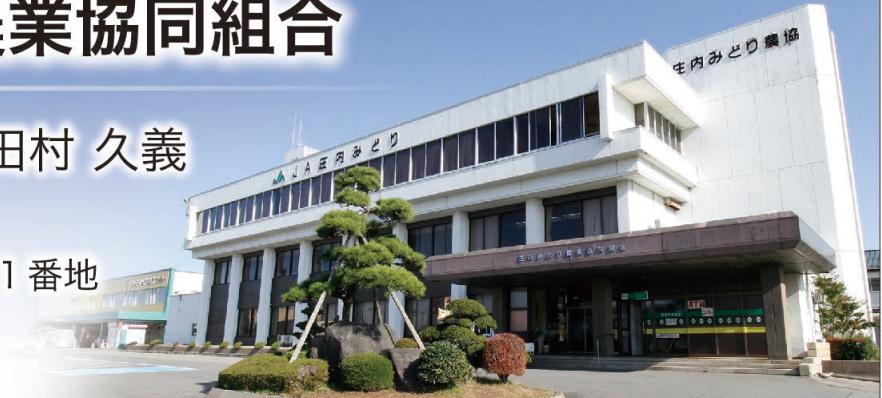
代表理事組合長 田村 久義

〒998-8510

山形県酒田市曙町一丁目1番地

TEL 0234-26-5500

FAX 0234-24-5777



「JA産直いちば・あんべみれ」 <http://ja-store.net/>